

・【第8回なかの保育園保護者説明会】

- ◆ 日 時 平成19年8月23日（木） 18時～
- ◆ 場 所 なかの保育園
- ◆ 出席者 なかの保育園保護者26名
- ◆ 内容等

市⇒ 市役所

な⇒ なかの保育園

保⇒ 保護者

台⇒ 台太郎保育園

市 それでは、これから第8回なかの保育園保護者説明会を開催する。

初めに8月1日になかの保育園移管先法人選定委員会において、社会福祉法人本宮福祉会を移管先法人候補者として選び、その後その結果に基づいて、社会福祉法人本宮福祉会を移管先法人として決定した。

選定の経過及び結果について児童福祉課長が説明する。

市 私から、なかの保育園の選定の経過と結果について皆様にご報告する。

まず初めに、なかの保育園の設置運営の移管に際して、県内の対象となる全法人に案内をし、6月13日から約1か月間募集を行った。その結果、社会福祉法人本宮福祉会から応募があった。

8月1日には、学識経験者、保育園の指導監査を行う者、税理士、保育園長経験者、保護者会代表者の5人で構成する移管先法人選定委員会において、書類審査、聴き取りを行い、応募法人が運営する保育所の視察も踏まえて、移管先法人を社会福祉法人本宮福祉会に決定したものである。

審査の講評についてだが、本宮福祉会の提案では、子どもを第一に考えた新しい保育所運営にふさわしい意欲にあふれた内容となっていること、財務内容や監査の結果などから安定的継続的に保育所運営を行うことができること、信頼できる良好な保育が実施できること、福祉サービスの第三者評価事業に取り組み、保育サービスの向上に積極的に取り組まれていることなどから移管先法人として適格であると評価された。

ちなみに採点結果だが、5人の合計点数3,300点のうち、2,776点となっている。

移管先法人選定要領では、審査点の総合計点数が100分の50に満たない場合には、移管先法人の候補者はなしと定めているが、同法人の評価割合は84パーセントを超える。

保育所の監査結果などから、信頼できる良好な保育の実施が可能であると評価されているが、本宮福祉会では、自らの保育を常に見直し、自己点検、自己評価がきっちりできていると思っている。

同法人の沿革について触れさせていただく。

昭和 50 年 4 月に、乳児保育の需要にこたえるために、0 歳から 2 歳児までの 20 名の定員で本宮ベビーホームの運営を開始している。

その後区画整理事業を経て平成 3 年には現在の台太郎保育園として運営を開始し、平成 15 年には定員 90 名となっている。

法人の理事長と園長のプロフィールについて若干触れさせていただく。

医療法人久遠会として鎌田内科クリニックを運営しているほか、老人保健施設、居宅介護施設などの運営を行っている。

園長は、本宮福祉会の理事として、また台太郎保育園の園長として、前身の本宮ベビーホームから保育を行っている方だ。

市 台太郎保育園の中村ミサ園長をご紹介します。平成 21 年度の移管時になかの保育園園長として予定している。

台 ただいま紹介いただいた台太郎保育園園長の中村ミサです。遅くなり申し訳ありませんでした。

この度は厳しい審査を経て、当法人を決定いただき、感謝申し上げます。

子どもを第一に考えた保育、一人ひとりを大切にしていく保育としては、乳児教育者として、それを具現化していくという責務があると考えている。

保護者の方々については、環境が変わるのではないかと、心配されている方も居られるのではないかと、少しでも安心していただけるように、なかの保育園の園長、主任を初めとして先生方と十分に話し合い、保護者の方と話し合いお互いに納得に行く方法で新しい保育園を作り上げていきたいと考えているのでよろしく願いいたします。

来年の 4 月から前期、後期に分けて 3 人ずつ、なかの保育園の職員として勤めさせていただき予定としており、一生懸命頑張りますのでよろしく願いいたします。

今日は、(平成 20 年度からなかの保育園の)主任保育士がきております。今は、(台太郎保育園の)副主任保育士として勤めています。

主任保育士は、交代制となっている。村上は、4 年の主任保育士経験がある。主任を経験したものが副主任保育士となり、主任保育士を応援するというシステムとなっている。

市 村上奈穂子保育士を紹介する。なかの保育園の主任保育士として予定している。引継保育が始まる平成 20 年 4 月から、なかの保育園に来て、こちらの主任保育士とともに保育園全般を 1 年間通して十分に把握していただく。主任保育士の分が加配となるので、保育士の人数は 1 人増えて引継保育を行う。

台 ただいま紹介いただいた村上奈穂子です。子どもたちがいきいきと過ごせるように一生懸命頑張りますのでよろしく願いいたします。

市 ありがとうございます。保護者の方からご質問があれば、この場でおうけしたい。

保 確認ということで聞きたい。現在のなかの保育園を引き継ぐということが大前提になっているが、現在のなかの保育園の休園日以外に休園日の変更はないか。

給食についてお伺いしたい。なかの保育園の給食を引き継ぐということだったので、現在3歳未満は、完全給食で3歳以上は副食給食となっているので、それを引き継いでいただけるのか確認したい。

台 休園日についてはなかの保育園と同じ。土曜日の給食は、現在の台太郎保育園はお弁当の日となっているが、公募条件には、土曜日にも給食をとることが条件になっているので、そのように行いたいと考えている。

もし仮に給食を変更する場合は、保護者の方と相談して進める。

保 病児保育の予定はあるか。

台 病児保育については、理事長は賛成だが、病児保育は現在行っていない。迎えに来れない保護者のために病児をお預かりしてもいる。正式に病児保育を行っていく場合は、大きな課題なので、理事会で話し合って検討していかなければならない。また行くとすれば、(新園舎の)間取りも関係してくる。病児保育については、保護者からの希望があったということを理事長に報告させていただく。

市 病児保育は今年度から1か所増やしている。現在は、病院併設型で3か所となっている。

今年度から国は保育園自園型が出来るようになっているが、看護師の配置や安静室の確保などが必要となってくる。これらの条件をクリアできれば、自園型の病児保育を行うことができるが、現在盛岡市内で病児保育の自園型を行っているところはない。

保 給食の件だ。先ほど園長先生が、休日に関しては、現在のなかの保育園と同じになります。給食に関しては、移管条件になっているので、当初はそれを守るけど、それ以降はわからない。

ヒアリングの時にも、そのようにお話をされていたようだが、保護者会としての要望の第一前提として入っている。土曜日の完全給食と給食の実施日数は、なかの保育園の現状をそのまま引き継いでもらいたいということだ。引き継いでもらいたいということは、今後ずっとという意味だ。現在の台太郎保育園では、土曜日がお弁当の日だということは存じ上げているが、わたしどもは、なかの保育園をそのまま引き継いでいただくということが第一前提だ。

給食は、ずっとその条件を守っていただきたい。移管の条件なので、ここ何年かは守るということでは、保護者会は非常に困る。台太郎保育園は、台太郎保育園だし、なかの保育園は、なかの保育園ということで考えていただきたいというのが切なる願いだ。

なかの保育園より民営化が先行している津志田保育園の説明会、三者懇談会の様子を市のホームページで見ると、移管先法人である川目保育園の園長先生は、それを大前提とされているように感じている。川目保育園は、川目保育園、津志田保育園は、津志田保育園というように。同様に、川目保育園では土曜日の給食を提供していないようだけれど、それはあくまで川目保育園の話しであって津志田保育園を引き継ぐので、津志田保育園の保育内容や行事を全て継承していくといっている。

川目保育園と津志田保育園は、別々の保育園だということを（市のホームページの会議録から）感じ取れる。それで好感が持てる。ヒアリングには参加できなかったが、ヒアリングの時点からそういう話が出ていたということなので、不安な気持ちできた。今までの市との話し合いのとき以上に不安できている。もちろん台太郎保育園にも良いところがあると思うが、私たちは、台太郎保育園を選んだわけではないので、なかの保育園を選択して保育所を選んでいるので、あくまでなかの保育園の保育内容を継承していただきたい。

ここからは希望だが、病児保育は、国の方針で自園型方式で病児保育を進めていきたいとなっているようだし、津志田保育園でも0歳児保育を行うにあたって、看護室を設けるので、病児保育が出来ればと言っている。園舎を改修するので、そういうところで病児保育ができるのであればと答えている。

急な発熱などで、すぐに迎えにいけないようなときに安静室などで子どもを預かっていただけるよう病児保育も検討していただけたらと思っている。

休日保育は、当初公募条件に入っていたようだが、移管計画には入っていないようだが。

台 給食は、あくまで今は、行っていくということだ。台太郎保育園では、当初は土曜日の給食についても提供していたが、保育園側の提案で、保護者会と話し合ってしまったものだ。連絡ノートを使っているが、子どもの様子がわからない。土曜日に子どもにお弁当を食べさせたい。その中で話し合っ、弁当等の日にしようかとなった。土曜日の代わりに月曜日を完全給食とするということになった。なかの保育園保護者会の皆さんと一緒に話し合っていきたい。あくまでも話し合っすすめていきたい。

公募条件については、理解しているので、不安のないようにすすめていきたい。

病児保育については、先ほど申したとおりだが、理事長も努力目標としているので、18日、23日の保護者説明会を経て、27日に理事会で報告することとなっている。病児保育についても報告したい。

休日保育の実施については、移管先法人の公募要綱では、休日保育か一時保育を実施することとなっていた。台太郎保育園では、一時または休日保育を行っていないので、一時保育を行うことを希望した。

保 児童福祉課に聞きたいが、園長先生の話から、とりあえずは、なかの保育園の現状を引き継ぐ、しかし、それ以降は変わる場合がある、ということだと思うが、それは、とりあえず公募条件をクリアできているということでしょうか。

市 市では、公募の条件として、現在の保育園の保育を引き継いでいただくこととしている。それが保育園を民間に移管するにあたって、児童や保護者の混乱が少ないだろうということだ。移管後については、今のなかの保育園と同じようにやっていただく。給食以外についても、行事等についても、保護者から様々な要望があるが、基本的にそのまま引き継ぐこととなっている。保護者と話し合っ保護者の理解を得てから変更すること

としている。

土曜日の給食について、保護者が提供してほしいということであれば、変わることはない。移管の条件としてきちっと守っていただくが、移管後に保護者の要望があって、保護者会と移管先法人がよく話し合って納得すれば、変わるということだ。保護者会が要望すれば、変わるし、要望しなければ変わらない。

保 保護者会が望んでいるのであれば、そうなのだが、保護者会としては要望していない。

私は、私立保育園にも預かっていたことがあるが、土曜日になぜ弁当の日なのか理解できない。土曜日は、園児も少なくなるし、土曜日に預けている保護者の立場からすると、土曜日も平日と一緒だ。土曜日に愛情弁当と称して弁当の日をしているのが理解できない。土曜日も平日と同じだ。

保育園から提案して、保護者会でもんでもらうということだが、保護者会が望んでいない。主任保育士になる予定の村上先生は、保育士の経験は何年か。

台 今年で保育士経験 12 年目だ。

台 給食の事について、当園のマニュアルでは、給食に関する衛生管理の土曜日についてというところを書いてある。保育園は朝 7 時から夜 8 時まで、土曜日まで行っているので、ゆっくりと消毒するときもないという理由もある。

毎日使用している食器は、全て土曜日に漂白処理を完了する。食器はメラミンと強化磁器を使用。メラミン食器は、プラスチック製であるが、食品衛生法の規格に合格しているので、使用に問題はない。強化磁器は、落とすと割れる危険を伴うが、使用に際し安全性が高い。また落とすと食器は壊れることに気づかせたり、家庭と同じ食環境にして、食事のマナーなどに配慮している。

給食器具の点検管理、オーブンレンジや食器消毒保管庫など大型器具の清掃・保守点検・清掃を行っている。業務用の大型クーラーと大型プロペラなどの清掃・保守点検を行っている。

給食の衛生管理について、給食室内の全般をチェックし、外回りの清掃、大型生ごみ処理機の確認、大型ダストボックスの整理・管理を月 1 回行っている。そのことで協力をいただいているということもある。

保 土曜日に清掃・保守点検をするので協力していただいているということであれば、公立保育園は、ほぼ全園土曜日が完全給食を行っていると思うので、1 年間の引継保育期間に、こうやって公立保育園は消毒を行っているということを引き継いでいただきたい。

なかの保育園は、保守点検や清掃ができていないかという、そういうことではないはずだ。そういうことを理由にされるのは不可解だ。

台 なかの保育園のやり方を行って、その中で消毒・清掃管理を行わないというわけではないので、できる範囲の衛生管理に努めていかなければならない。あくまでも台太郎保育園はそうだということだ。なかの保育園の園長・主任からやり方をお聴きして、よい方法を考えていきたい。

保 最終的に確認させてください。なかの保育園の保護者会は、給食は変わらずに行っていただけるか。現状は変えないということで、理解してよろしいか。

台 あくまでも移管条件ということは、理解している。一人ひとりの子どもを見ながら保育をしているので、子どものことを考えて提案するということはあるかもしれない。先ず話し合っていくということだ。保護者の方の変えないでほしいという気持ちは、理解している。今のままで行ってほしいという気持ちは、十分受け止めている。

これから先の事はわからない。このままずっと同じでいくかもしれないけれど、これではだめだと思ったときは、子どもの様子を見て提案していただくということはあるかもしれない。子どもにとって良い方法とは何かを考えていかなければならないし、保護者の方の気持ちを受け入れながら、保育を行っていくということを考えている。

保護者の方からの要望について見せていただいている。保護者の思いについては、なかの保育園の園長先生と一緒に考えていきたい。

保 このままでは、議事が進まないと思う。はっきり言って、市としての説明が少し足りないと思う。保護者の方は、子ども預けている身で、仕事をしている身でもあるので、子どもの環境、家族の環境をこうあってほしいという意思が強く出てくるはずだ。私たちが仕事をしている身なので、新しく受けられる法人としては、いま企業がどういう形で人件費を削減したりというのはわかるので、法人がそういう経営の姿勢を持っているのがわからなくはない。

しかし、今回の話は、市と移管先法人の契約だ。それがどういう条件で、どこを守れというのが絶対条件として契約をなされたのかが明確でない。

これはこうしたいと思いますという個人の話なのか、法人の話なのか、契約の話なのかそこが明確でない。

3年5年したら、この保育園と縁が切れるかも知れないが、2人目、3人目の子どもがお世話になるかも知れない。けれども親として、子供を預ける期間どうしたいのか、どうあってほしいのかという主張が、保護者から出たのだと思う。

それを汲んで市は、移管先法人とどういう契約をなすのか、これは守ります、守ってくださいというように条件付けを徹底したのか、していないのか、ここは柔軟にしても良いといったのかを説明してほしい。

新しい法人は、それをわかったうえで受けますと言ったのか。ただ、何年か経つてみるとこういう状況も出てくるのかもしれないが、当初の契約は契約だ。こういう条件は守りますというのは、絶対条件だ。思いますというのではなく、守りますということだ。

その文言の使い方をきちんと区別していただいて、何を守るべきなのか、何を守りますというように約束したのかを市と移管先法人は、きちんとした文言を使ってほしい。

一人ひとりの意見を聞いていたら、保護者だってそれぞれ違うだろうし、先生方だって思いが違うはずだ。市の担当者がそこまで考えていなくて、合格したということであれば困る。そこを説明していただければ、納得すると思う。あやふやなものが出てくれ

ば、不安が募ってくる。そこは、議事進行と説明をしてほしい。

市 移管の公募条件の大前提として、現在のなかの保育園の保育内容を引き継ぐということ
を明確に示している。

保 給食は変わらないということか。

市 はい。

保 園長先生が、先はわからないということについて、児童福祉課ではどう受け止めてい
るのか。

市 保護者の方も未来永劫に同じ方ではない。仮に保護者の方から給食をこうしてほしい
と出た場合には、これは契約だから絶対変えられないということではなく、保護者の方
が望むならば、話し合いのうえ、変更するということが可能だという意味で申しあげた
のだと思う。

今の時点では、条件にしているのだから、そのとおりに行くことを約束させていただく。

保 保護者会からの提案がなければ、今の条件のまま行うということか。

市 保護者の方から変えていただくということもある。

保 園からの提案であるときは。

市 極端な場合、土曜日にお弁当を持ってきてほしいといったときは、当初の契約だから
変えられないということではない。

保 それは、保護者から話が出た場合ということだ。

保 園からの提案であるときは、許可しないということではよろしいか。

市 もし保護者が望むならば、給食に限らず変えてほしいということはあるのではな
いか。話し合いですすめていくものだから。

保 保護者からの話だったらわかるが、保育園の提案で変わるというのはおかしい。

市 保護者が望むという場合もありうるのではないのか。話し合って決めていこうとい
うことだ。

保 保護者からの提案だったら変更はあっても良い。変更があってもかまわない。ただし
保育園からのほうから、変更したいということで話し合いの場を設けるということはあ
ってはならないと思う。

市 保護者の方が気づかないこともあるだろうし、市が気づかないこともあるのではない
か。提案して望むものでなければ、できないだろうし。仮に、変えてほしいとしても十
何年前に保護者から要望があったから、変えられないということではない。誤解のない
ようにお願いしたい。

台 うまく話ができなくて混乱させて申し訳ない。要望どおりに行っていく。困ったとき
は、相談させてくださいということではどうか。困るときもあるかと思うので、一緒に
力を貸してください。

市 より良い保育にしていくために提案はある。津志田保育園でも言っていますが、津志
田保育園は自分たちの保育園が一番だと思っているが、新しい保育園が来て、良いとこ

ろもあり、こうしたいという提案があると思う。より良い保育園にするために提案であり、そのため、保護者と相談して変えていただくことは良いことだと思う。

今は、給食だけがクローズアップされているが、それ以外に行事とか保護者会のあり方だと様々ある。

今のなかの保育園の保護者は、給食について非常に満足しているので、そういう要望を出しているのだから、それをきちっと守っていただく。給食にしても、より良い保育にするためであれば、提案していただく。それが、保護者から提案していただいても良いし、保育園から提案しても良い。

市 実際の例で、津志田保育園では、川目保育園の職員配置（児童に対する保育士の数）と同じにしたいという提案が保育園からあり、その内容は、今の津志田保育園の配置基準を上回る基準で、職員を配置するという提案である。より良い保育園にするために保育園側から提案したものだ。

あるいは、川目保育園のように男性保育士を配置し、リズムダンスを津志田保育園でもしてほしいとの要望があり、それについて相談しながら、保育園でこたえられる部分がある。保育園からこういう保育園にすることで、より良い保育にしていきたいと相互に話がでて、進んでいるところだ。

基本は、現状のなかの保育園の保育を引き継いでいただくことが、公募の条件となっているので、それについては書類上も書いてあり、当然給食も引き継いで現状のとおり引き継ぐということだ。

保 公募の条件が、あくまで大前提かつ絶対的ということで解釈してよろしいか。

市 そのため、引継保育を行うわけだ。なかの保育園の現状の部分、を引き継ぐために、保育士の日々の動きについてデイリーマニュアルを作成し、実際に保育を通して、児童の把握に勤め、給食についても引き継いでいただくこととなる。

了解したうえで、応募要項に載っているとおり、なかの保育園の現状を引き継ぐということだ。その他2時間延長を行うとか、地域子育て支援センター事業を行っていただくということだ。

市 今回これだけ多くの保護者の方には出席いただいたので市の職員を紹介する。

保健福祉部次長兼児童福祉課長の宮川文義でございます。

保育係長の女鹿俊勝です。

主査の赤坂國彦です。

市の職員ということで紹介するが、なかの保育園の園長の山加忠です。

後ろにいる高橋主任保育士です。

よろしく申し上げます。

実は、4月から組織機構の見直しで、児童福祉課に新たに保育相談員を設置している。その初代として、3月までなかの保育園園長を勤められた馬場美枝子さんをお願いしている。

市 こんばんは。3月までお世話になりました馬場です。

さっき来たら、こどもたちが抱きついてくれて、大きくなり忘れないでくれて、うれしいと思った。ここに来てほっとした。

なかの保育園の保育内容が、そのまま引き継いでいけるよう、一人ひとり保護者の方々とお話し合わないと、うまく伝わらない部分もある。これから何回も話し合いをし、詰めていきたい。こどもたちが、気がつかないうちに、なかの保育園の延長線上で移管ができたというように、保護者の方と一緒に力を合わせながら、話し合いを進めていき、これだけ大きく成長したこどもたちが、そのままの良い環境でいければいいと思う。

市 馬場保育相談員には、当課の通常業務以外に園を訪問し、引継保育期間中も定期的に引継保育を見守っていただく。移管後も移管計画のとおり行われているか、確認を行っていただくこととしている。

また来年度から中核市になり、保育園の指導監査業務について市が行うこととなるので、その際保育士の立場から指導監査する業務をおこなっていただく。

私は課長補佐の大山です。

これからだが、三者懇談という形で進めさせていただきたい。三者というのは、保護者の皆様、台太郎保育園、なかの保育園を含めた市ということだが、懇談を行う形で進めさせていただきたい。皆様のところに移管計画（案）を配布させていただいている。

津志田保育園を参考にしながら、骨格を時期別に分けて作った。これから肉付けを行い、それに対して、どのように進めていくかについて記述してある。

移管計画を基に、期別に説明を行い、皆様からご意見を伺いたい。

8月18日に今回と同じように説明会を開催した。

その際に、進め方として、これまでと同じように懇談会になっても全保護者に対して案内を行い、進めることで意見がまとまった。欠席した方に対しては、NEWSを発行しお知らせすることとしている。説明を行い、それに対して意見を頂くこととしている。

皆様からご意見をいただければと思う。

市 津志田保育園では、2つ提案させていただいて、一つは、保護者の役員の方と話を進めていくという方法と保護者の方全員に案内をして、進めていくという方法だ。前の18日に行われたなかの保育園の説明会では、全員に案内を差し上げて進めたいという意見だった。

保 できれば、面倒になると思うが、今回のように2回ずつというように進めていただければ。出席率が上がるのではないか。そうすると市の職員と台太郎保育園には負担になるかと思うが。私たちの希望を聞いていただくには、それがベストかなと思う。検討していただければ。

市 懇談会を2回開催するということか。

保 今回は、この内容を話し合うということについて、土曜日と土曜日に来られない方に対して、平日の夕方に開催できれば。

市 土曜日と土曜日以外の平日の夕方に設定するという事か。

市 保護者会会長と話し合ったが、会議の終了の時刻をはっきり示して、会の案内をするのも良いのではないか。案内の時間はあるが、終了の時刻がないので、1時間程度できっちり終わらせるということであれば、出席する方も増えるのではないか。いかがか。

保 はい。

市 園の行事関係もあるので、9月下旬に第1回三者懇談会を設定して、テーマを決めて話し合いたい。時間は1時間程度と切ったほうがよろしいか。

保 はい。

市 それでは1時間ということでご案内を差し上げたい。本日はこれをもって締めさせていただきます。ありがとうございました。